庵ノ平（あんのひら）ため池

堤高2.8m　堤頂長20.0m　総貯水量12,000㎥

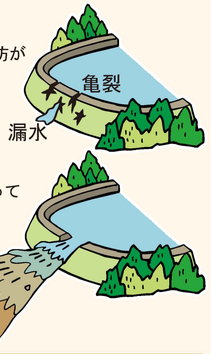
ため池ハザードマップ

ため池決壊のおこり方とその被害

1 地震で堤防が破損する。
地震同様に、大雨の際にも堤防が破損するおそれがあります。

2 破損した堤防が、貯水に耐え切れず決壊

3 ため池決壊による被害
- 大量の水や土砂が濁流となって押し寄せます。
- 建物や車は押し流されます。
- 道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



ため池にこんな現象がみられた場合は、決壊のおそれがあります。すぐ避難しましょう。

- 堤防に亀裂がみられる。
- 張りブロックが壊れている。
- 堤防から漏水がみられる。

いざというときの連絡先		
機　関	平常時	緊急時
薩摩川内警察署	20 - 0110	110
久見崎駐在所	27 - 3924	110
薩摩川内市消防局	22 - 0119	119
薩摩川内市役所	昼　間	夜間・休日
	23 - 5111	23 - 5115

避難所一覧表	
名　称	電話番号
滄浪地区コミュニティセンター	27 - 3159
旧滄浪小学校	—

凡　例

- 屋内の避難所
- 屋外の避難所
- 国　道
- 県　道
- 河　川
- 警察署
- 消防署・消防団詰所位置
- 屋外拡声放送塔

ため池のはん濫に関する凡例

■浸水深
- 5.0m - 10.0m 未満の区域
- 3.0m - 5.0m 未満の区域
- 0.5m - 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

■はん濫水の到達時間

■想定破堤地点

■避難経路

地震時の心得10ヶ条

1 まず身の安全を！
ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。

2 すばやく火の始末
揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。

4 火が出たらすぐ消火
万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。

5 あわてて外に飛び出さない
飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない
ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく避難を。

7 協力し合って応急救援
地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。

8 山崩れ、がけ崩れに注意
居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。

9 避難は徒歩で
マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。

10 正しい情報を聞く
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

浸水深の目安

2 階の軒下までつかる程度 5.0m ▼

2 階の床下までつかる程度 3.0m ▼

大人の膝までつかる程度 0.5m ▼

平成２９年 3月 作成
令和２年 3月 修正